

在宅医療・介護サポートセンター運営事業を委託 ～在宅医療と介護を一体的に提供する体制を強化します～

1 目的

全ての団塊の世代が75歳となる2025年を迎え、医療と介護の両方を必要とする方の増加が今後一層見込まれる中、医療と介護の関係者がより緊密に連携し、医療と介護が一体的に提供される体制を強化するため、令和7年4月1日から市医師会に在宅医療・介護サポートセンターの運営を委託します。

2 業務内容

医療・介護の専門職を複数人配置し、次の業務を実施します。

令和6年度までの業務内容	令和7年度からの業務内容
医療・介護の地域資源の把握や提供 医療・介護の連携の課題抽出 医療・介護関係者の研修や連携支援 市民への普及啓発	医療・介護の地域資源の把握や提供 医療・介護の連携の課題抽出 医療・介護関係者の研修や連携支援 市民への普及啓発 市民からの相談受付（新規） 実務者の協議の場の運営（新規）

3 予算額（予定）

運営委託料 19,740千円

4 その他

高齢化率は26.1%（2024（令和6）年10月現在）で、2040（令和22）年には高齢化率が30%を超え、その後も上昇すると推測されています。また、要支援・要介護認定者は増加傾向にあり、2035（令和17）年頃にピークを迎えることが見込まれます。

※2024年以降は推計値

項目	2023年	2024年	2025年	2026年	2030年	2035年
75歳以上人口	46,516人	48,475人	49,722人	<u>50,349人</u>	49,554人	45,629人
要支援・要介護認定者数	14,893人	15,258人	15,712人	16,099人	17,789人	<u>18,491人</u>

出典：第9次春日井市高齢者総合福祉計画